

流産および子宮内膜搔爬手術クリニカルパス

氏名

経過	入院日(/)		退院日(/)
	手術前日	手術後	手術翌日
観察	手術前の体調を確認します。	看護師が定期的に、体温・血圧・症状の変化、出血の有無を観察していきます。 痛み・吐き気が強い時は遠慮せずに看護師に申し出てください。	 
安静	子宮口を広げる処置をした後は、手術に呼ばれるまで病棟で過ごしてください。	手術後は麻酔が覚めるまでベッド上安静です。 初めての歩行は看護師が観察した後付き添いで行います。	制限はありません。 
食事	前日21時から絶食、当日朝6時から絶飲食。	看護師が腸の動きを観察後、水分をとることができます。 夕食から普通食または治療食が開始されます。	普通食または治療食が出ます。 
清潔	手術の日はお風呂に入れません。 手術前に歯磨きをしてください。		退院後シャワーに入れます。 次回外来まで入浴は控えてください。 
排泄	手術前にトイレを済ませてください。 	麻酔が覚めていなければ、ベッド上で尿器をあてて取ります。 看護師が観察後トイレ歩行(初回は看護師が付き添います。)	トイレに行くことができます。 
診察処置	入院後、病棟の内診室にて子宮口を広げるための処置があります。	手術後は歩行の様子・排尿の有無を確認します。	退院前の診察を行います。 (内診をすることがあります。) 
薬物療法	手術が午後の場合、脱水予防の目的で点滴を行います。 	抗生剤が処方されます。 手術日の夕食後から内服してください。 	
説明	入院後、術前のオリエンテーションを行います。 	飲食再開時間や初回歩行について説明を行います。	退院療養計画書に沿って説明を行います。
目標	手術の目的・内容が理解できる。	ふらつきなく歩行ができ、排尿ができる。 痛み、吐き気があれば、医療者に伝えることができる。 異常な出血・腹痛、吐き気がない。	退院診察時、異常な出血、腹痛、吐き気がない。 退院後の注意点がわかる。